

「体験活動・教育アカデミー2020」

環境教育パッケージプログラム講座 受講の手引き

2020/10/24版

1. 体験活動・教育アカデミーについて

この度は、あばれんぼキャンプ体験活動・教育アカデミー 環境教育パッケージプログラム講座にお申し込み頂き、ありがとうございます。本講座は、教育現場や生涯学習を目的とした活動、環境教育の指導技術を学ぶための講習で構成されています。受講後は子どもたちの為に、習ったスキルをご活用ください。実践の場をお持ちでない受講生の皆さまには、あばれんぼキャンプが運営する事業や施設でも、ご活躍頂けるように協力させていただきます。

2. 持ち物（野外体験活動実習を除いて共通・以下を参考に準備して下さい。）

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| (1) 動きやすい服装 | (2) 履きなれた靴 |
| (3) タオル | (4) 筆記用具（鉛筆・消しゴム・ノート・マジック黒ほか） |
| (5) 弁当・水筒 ※必要に応じて | (6) その他、各自必要なもの 処方薬等 |

3. 保険・個人情報（全期共通）

- ・受講費には、傷害保険料が含まれております（入院 3000 円、通院 2000 円）。安全には十分注意して活動してまいります。万が一負傷された場合保険の範囲内で対処させていただきます。
- ・お申し込み時に頂いた個人情報は、当法人からの連絡・お知らせ、資格発行手続きの他には使用いたしません。
- ・事業中に撮影した映像や動画は、当法人、講師、資格発給団体が使用させて頂く場合がございます。不都合のある方は予めお知らせください。

4. お問合せ・緊急連絡先

遅刻、急な体調不良、講義室がわからないなどの時、また講義詳細のお問合せにもこちらの連絡先をご利用ください。

※講義会場に直接連絡せず、下記電話番号にお問い合わせください。

◆担当（中嶋）： 090-3803-8637

5. その他（資格の詳細）

取得できる資格の詳細については、当法人講習会ページよりどうぞ。
右のQRコードからもアクセスいただけます。

http://www.abarenbo-camp.com/project/project_leader/



主催：あばれんぼキャンプ事務局（<http://abarenbo-camp.com/>）

〒183-0035 東京都府中市四谷 3-27-1 ウェルズ府中 96-A

TEL：042-364-8031 FAX：042-202-0881

担当：中嶋

共催： NPO 法人 ERIC 国際理解教育センター、一般財団法人公園財団、公益財団法人 河川財団

6. 取得資格と受講日

取得したい資格により受講日が異なりますのでご注意ください。

受講日	資格	会場	講師	備考
11/21 (土)	PJ-WILD エディケーター	東京農工大学 府中キャンパス 第2号館1階 多目的教室	関 隆嗣 国際青少年研修協会	各日帰り
11/22 (日)	PJ-WET エディケーター			
11/23 (月・祝)	PLT ファシリテーター (6hr)		佐藤 敬一 東京農工大学	

7. 受講要領

○時程 (各日共通) 9 時開場、9 時 30 分講義開始
17 時 30 分散散予定 (12~13 時 昼休憩)

○会場

東京農工大学府中キャンパス

※お飲み物、お弁当を準備して来場いただくことをお勧めいたします。

【JR 武蔵野線・北府中駅から】徒歩 15 分

【京王線・府中駅から】徒歩 20 分

- ・北口バスターミナル 2 番乗場から「国分寺駅南口行バス(明星学苑経由)」
約 7 分「晴見町」バス停下車

【JR 中央線・国分寺駅から】

- ・南口 2 番乗場から「府中駅行バス(明星学苑経由)」約 10 分「晴見町」下車



8. 受講費について

下表をご覧ください。取得されたい資格（受講されたい講義）を決定してお申し込み連絡をください、お申し込み後 10 日以内に受講費およびテキスト代の合計金額（税込）をお振込みください。

日程	取得資格	受講費（一般）	受講費（学割）	テキスト費	登録費	備考
11/21	PJ-WILD	¥6,600	¥5,500	¥6,500	テキスト代に含む	更新費なし
11/22	PJ-WET	¥6,600	¥5,500	¥5,000	テキスト代に含む	更新費なし
11/23	PLT	¥6,600	¥5,500	¥5,000	テキスト代に含む	更新費なし

※PJ-WILD のフォローアップ受講については、受講費の他シニアエドゥケーター登録費用 2000 円を要します。テキストはライセンス取得された際に入手したものを持参ください。テキスト費は要しません。

○受講費のお支払い方法

- ・学割を利用される場合、学生証の写真を Email 添付して送付願います。
- ・連絡なくお申し込み後 10 日以内に費用をお振り込み頂けない場合、ご受講頂けない場合がございます。
- ・お申し込み後のキャンセルによる受講費の返金はしかねます（他受講者への譲渡は可）。テキスト費用につきましては、振込手数料を差し引いて返金させていただきます。
- ・資格認定団体による登録費・テキスト費の変更があった場合、差額調整をさせていただきます。

振込口座：三菱東京UFJ銀行 府中支店 普通 1579049

あばれんぼキャンプ 代表 中嶋信（アバレンボキャンプダイヒョウナカジママコト）

9. 資格について

資格の詳細については、発給団体のホームページを参考になさってください。

○プロジェクトラーニングツリーファシリテーター／NPO 法人 ERIC 国際理解教育センター
(<http://eric-net.org/plt02.html>)

○プロジェクト WILD エドゥケーター／一般財団法人 公園財団
(<http://www.projectwild.jp/PWtoha.html>)

○プロジェクト WET エドゥケーター／公益財団法人 河川財団
(<http://www.kasen.or.jp/wet/tabid122.html>)

10. 感染症対策について ※10月24日追記

《NPO 法人野外遊び喜び総合研究所/合同会社 ACT あばれんぼキャンプツアーズ作成「新型コロナウイルス感染症予防対策について」を抜粋・変更し記載しています。》

【実施基準】

- ・感染状況に応じた適切な活動場所の選定に留意する。
- ・出発となる都道府県から、都道府県外への移動自粛の要請等を確認する。
- ・旅行先、活動場所の地元の理解がある。
- ・旅程、行程に組み込む運送機関、食事場所、観光施設、活動場所、体験プログラム等については、事前に適切な感染防止対策を行っていることを確認する。
- ・原則総人数が最大 50 名を超えない数を定員とする。
- ・「自然学校等における新型コロナウイルス対応ガイドライン」「旅行業における新型コロナウイルス対応ガイド

ライン」に基づき事業が計画され、三密を回避することができ（後述）、担当者がこれを認めている。

- ・事業実施日当日、受付において健康チェック及び非接触での体温測定を実施する。
- ・講師・スタッフについては、必要に応じて「マスク」「フェイスシールド」を使用する。

【スタッフの参加基準】

- ・開催日 1 週間以内に発熱・咳などの症状がある人との接触がない。
- ・参加当日を含めて、2 週間以内に 37.5℃以上の発熱、咳、喉の痛み、倦怠感などの体調不良がない。
- ・各事業開始 1 週間前から体調チェックを行い、異常がある場合は参加をしない。
- ・14 日以内に日本国外への渡航をしていない。
- ・活動時にマスクの着用ができる状態にある。

【受講生の参加基準】

- ・受講生は参加当日を含めて事業開始前 3 日間、毎日検温と体調（食事、排便等）チェックを実施し、いずれも 37.5℃を超えていない。
- ・受講生、家族の中に過去 7 日間にわたり発熱、咳、喉の痛み、倦怠感などの症状を発する人がいない。
- ・受講生、家族または接触者に過去 14 日間にわたり新型コロナウイルス陽性者がいない。
- ・飛沫を予防するためのマスクを各自用意し、着用することができる。

【事業実施における感染予防策】

1、三密回避の徹底

- ・屋内では換気のため窓またはドアを 2 カ所以上開放し、扇風機を外部に向けて使用するなど風通しの良い状態を確保する。
- ・エアコン使用時は 1 時間に 10 分程度の換気を行う。
- ・屋内を使用する場合は、施設定員以下で利用する。

2、感染症予防対策

- ・手洗いうがい、手指消毒を徹底する。食事前や屋外から戻った際などは、石鹸による手洗いやアルコールなどによる手指消毒を実施する。また、そのための時間を行程に設定する。
- ・体調不良発生時は直ちに受講を中断していただくよう依頼する。また、その後 2 週間以内に新型コロナウイルス陽性と診断された場合には、当法人へ連絡いただくよう依頼し、当方からも連絡をさせていただき、その後の経過を把握する。
- ・他の受講生への感染防止対策を行うとともに、最寄りの保健所や医療機関に相談、受診できるよう事前に準備を行う。
- ・事業への参加にあたり、未成年の場合は保護者の同意を必要とする。
- ・明らかに体調が悪い、体温が高い、咳が続いている等の症状がある場合は、現地で判断し対応する。

【活動中の感染防止対策】

（1）活動内容について

- ・水分補給は自分の水筒・ペットボトルから行う。コップ等を利用した場合はすぐに洗浄する。
- ・野外での活動時に互いの距離感については制限を設けないが、適切なタイミングでの手洗いを実施するよう声かけを行う。
- ・野外に出る場合も「手指消毒用アルコール」をスタッフ・講師が携帯する。

- ・参加時に体調不良がないことを確認しているので、活動に原則制限は設けない。

(2) マスクの着用について

- ・講習会受講中は原則マスクの着用をお願いする。
- ・屋外で体を動かす際は、熱中症や窒息を避けるため受講生・スタッフともに原則マスクは外す。

(3) 手洗い、消毒の徹底

- ・施設への入室時、トイレの後、食事・調理の前には適宜手洗い消毒を行う。
- ・手洗いの際は、共用のタオルは使わずに、各自が持参しているハンカチまたは使い捨てのペーパータオル、自然乾燥を行う。

(4) 事前の体調管理と検温、体調確認

- ・受講生は事業開催3日前から体調チェックを行い、発熱、咳、喉の痛み、倦怠感などの症状がある場合は参加を控えていただく。

【活動環境の整備について】

(1) 備品について

- ・使用する備品のうち水洗いできるものは適宜水洗いをし、日光に当てる。人の手が触れるものや場所は消毒を行い管理する。

(2) 食器やテーブルについて

- ・机などを使う前は消毒をし、食器は使い終わった後に、洗い、乾燥する。講習会で使用した食器類は全て、スタッフが再度洗い直しを行う。

(3) 掃除について

- ・複数の人が触れる場所を極力減らし、難しい場合はこまめに清掃・消毒をする。

以上